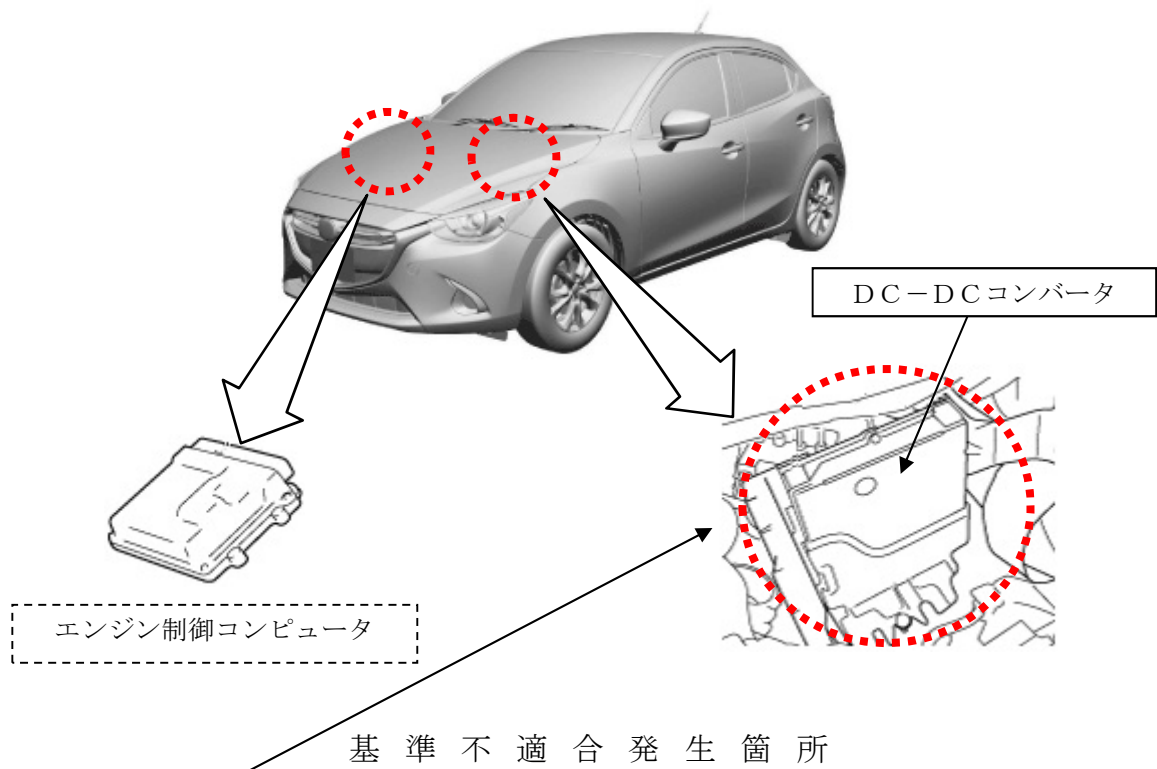


改善箇所説明図



減速エネルギー回生システム（i-ELOOP）を搭載した車両において、DC-DCコンバータの制御プログラムが不適切なため、電気回路が故障した場合にi-ELOOP警告灯点灯およびi-stop警告灯が点滅するとともに、通電停止のためのバイパスモードが作動するが、押しボタンスタートを押して電源ポジションをOFFにした際、解除することがある。そのため、そのまま使用を続けると、DC-DCコンバータ内部の電気回路がショートし、充電不良となりバッテリーが上がり、エンジンが停止するおそれがある。または、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御コンピュータを点検し、点検の結果、DC-DCコンバータに異常がある場合はDC-DCコンバータを新品と交換し、エンジン制御コンピュータを対策プログラムに書き換える。異常がない場合は、DC-DCコンバータおよびエンジン制御コンピュータを対策プログラムに書き換える。

識別：デミオとCX-3は、右リヤドア・ロアヒンジ取付けボルト（上側）の頭に白ペンを塗布する。
ロードスターは、DC-DCコンバータのターミナル・カバーに白ペンを塗布する。

注) は、点検の結果、交換または対策プログラムに書き換える部品を示す。
 は、対策プログラムに書き換える部品を示す。